

議会だより

かみやま

第 21 号

2014. 5. 15

3月定例会



十年目を迎えた鬼籠野さくら祭り

3月定例会は、平成26年3月6日から17日まで12日間の会期で開催した。前年度より1.6%増となった平成26年度一般会計予算を中心に、25年度補正予算のほか条例の制定、条例の一部改正など22議案を審議し、すべて可決した。

一般質問では5議員が登壇し（7～11ページに掲載）それぞれ町の考えを質問した。

日	平成26年3月定例会議案事項	掲載頁
第1日	平成25年度補正予算について 一般会計・特別会計（国民健康保険・簡易水道事業・介護保険）	5頁
	平成25年度工事変更請負契約について 役場本庁舎耐震改修工事・中央簡易水道設備工事・上分公民館建替工事	※工期変更
第2日	平成25年度補正予算について 一般会計・特別会計（国民健康保険・簡易水道事業・介護保険）	5頁
	平成26年度一般会計予算について 一般会計歳入・歳出予算総額（42億800万円）	4頁
第5日	平成26年度特別会計予算について 国民健康保険（9億844万円）簡易水道事業（5億8328万円） 介護保険（9億7643万円）後期高齢者医療（1億2575万円）	4頁
	条例の制定・一部改正・廃止（7議案）	6頁
第7日	一般質問 西崎議員 森本議員 五島議員 木元議員 坂口議員	7頁～11頁
第8日	平成26年度一般会計予算について 一般会計歳入・歳出予算総額（42億800万円）	4頁
	平成26年度特別会計予算について 国民健康保険（9億844万円）簡易水道事業（5億8328万円） 介護保険（9億7643万円）後期高齢者医療（1億2575万円）	
第12日	条例の制定・一部改正・廃止（7議案）	6頁
	神山町議会傍聴規則の一部改正について	
	平成25年度補正予算について 一般会計・簡易水道事業特別会計	5頁
	議員派遣・委員会の閉会中の継続調査について	

※第3日・4日・10日・11日は休日、第9日は卒業式出席、6日はその他理由により休会とした。

町 長 所 信 表 明

神山町の魅力アップを図り、引き続き交流人口を増やし、IターンUターン者を増大し若者定住、産業振興につなげたい。神山町活性化のために頑張っていただいている団体には支援を引き続き継続したい。

南海トラフ巨大地震の襲来に備えての老朽化しているインフラ整備、公共施設の耐震化を図りたい。※インフラ公共設備

課の再編については、産業振興を特に図りたいので、産業建設課を産業観光課と建設課に再編したい。

小中学生の通学バス代補助、高校生の通学費半額助成制度、出産祝い金の増額（県下）、若者定住住宅の推進。

ふるさと納税に310万円のご寄付をいただいた。学校備品の購入、スタチ苗木の購入、保育所の机、イスの購入などにつかわせていただく。

防災ヘリ・ドクターヘリの着地場所の整備（鬼籠野残土処理場）

県が発行する阿波とくしま商品券が終了する8月31日の後も産業振興のため町独自で9月から商品券を発行予定。

神山町出産祝い金支給に関する条例を制定し、出産時に第一子及び二子に5万円、第三子以上に10万円を支給する。

神山町移住者に対する空き家改修助成制度の創設。改修費用の3分の2を限度額100万円まで助成。

背景写真は、レンギョウ・ユキヤナギ・しだれ桜が咲き誇る鬼籠野さくら街道。

平成26年度当初予算

○一般会計	42億0800万円 (1.6%増)
○国民健康保険特別会計	9億0844万円 (0.6%増)
○簡易水道事業特別会計	5億8328万円 (103.0%増)
○介護保険特別会計	9億7643万円 (2.6%増)
○後期高齢者医療特別会計	1億2575万円 (1.8%減)

当初予算合計 68億0190万円

課名	平成26年度予算の主な内容
総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー法導入支援業務委託料 (※マイナンバー法=国民一人一人に番号が割り振られる法律) 483万円 ・入札等管理システム導入委託料 550万円 ・若者定住住宅基本設計業務委託料 200万円 ・情報センター機器購入費 2400万円 ・ヘリポート整備工事 200万円 ・名西消防組合負担金 1億4334万円 ・防災行政無線施設整備工事 2億8200万円
住民課	<ul style="list-style-type: none"> ・町営バス運行委託料 2190万円 ・ゴミ処理委託料 813万円 ・井ノ谷団地改修工事 4720万円
保険課 税務	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特別会計操出金 1億3870万円 ・地籍調査事業委託料 2335万円
健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り等支援事業委託料 308万円 ・障害者自立支援介護給付費 1億4433万円 ・高齢者タクシー利用助成事業委託料 850万円 ・放課後児童クラブ運営委託料 589万円 ・子育て世帯臨時特例給付費補助金 450万円 ・子どもはぐくみ医療助成費 1296万円
建設課	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模飲料水供給施設応急対策補助金 200万円 ・社会資本整備総合交付金工事 (町道改良工事、橋りょう修繕等) 6300万円 ・県道改良工事等負担金 2000万円 ・町道維持工事 3000万円 ・橋りょう改修測量設計委託料 1700万円 ・道路改良舗装工事 5500万円

課名	平成26年度予算の主な内容	
産業観光課	・ 中山間地域等直接支払交付金 ・ 青年就農給付金 ・ 移住者支援空家改修補助金 ・ 県プレミアム商品券負担金	1700万円 300万円 300万円 110万円
教育委員会	・ スクールバス委託料 ・ パソコン等購入費 ・ 全国こども民族芸能大会出演補助金 ・ 給食調理・配送業務委託料 ・ 通学費補助金 ・ 農村環境改善センター指定管理者業務委託料	1772万円 2355万円 106万円 1211万円 727万円 1377万円
その他	・ 公債費	5億3417万円

平成25年度3月補正予算

一般会計補正予算並びに、3特別会計補正予算が提案され、総額で6125万円が追加計上された。

一般会計（7号）（8号）	46億0377万円（5182万円）
国民健康保険特別会計（3号）	10億2645万円（1235万円）
簡易水道事業特別会計（4号）（5号）	2億8372万円（△1600万円）
介護保険特別会計（2号）	9億7314万円（1308万円）

※（左は予算総額、（ ）は3月補正額）

主な内容

・ 財政調整基金ほか4基金	1億4906万円
・ 国民健康保険特別会計操出金	525万円
・ （国保）療養給付費	1658万円
・ （介護）介護サービス費	1790万円

平成26年

名西消防組合議会

第1回定例会

第1回定例会組合議会は、平成26年3月5日に名西消防組合消防本部で開催された。

本定例会では、「名西消防組合予防条例の一部を改正する条例の制定について」に関する説明、平成26年度名西消防組合一般会計予算の8件を審議し原案どおり可決した。平成26年度名西消防組合一般会計予算

4億8271万円

内訳

神山町負担金

1億4333万円

石井町負担金

3億3102万円

その他

836万円

3月定例会で次のとおり、条例が制定、一部改正、廃止された。

平成26年4月から実施する課の再編に伴う関係条例の整理について

主な改正内容…… 平成26年4月1日から、役場産業建設課が「建設課」と「産業観光課」に分かれることから、関係条例が整理された。

建設課は主に、道路の新設・改良・維持、災害復旧、農業・林業土木、用地管理、簡易水道事業などの業務に当たり、産業観光課は主に、農業・林業振興、商工観光などの産業振興の業務を担当する。

神山町特別職の職員で非常勤のものものの報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の制定について

制定の理由…… 現行の条例の全部改正を行ったもので、非常勤特別職の報酬額についてはその都度改正を行っていたが、本文についての改正が行われておらず、現在の運用と異なる部分があるため、現在の運用にあったものに改正し、関連する条項を一つに取りまとめた。

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成25年法律第44号・第3次一括法）に伴う関係条例の整理について

主な改正内容…… 神山町介護保険条例の一部を改正し、各被保険者が可能な限り住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるよう、包括的支援事業を実施するために必要な基本方針を定めた。

神山町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

制定の理由…… 指定介護予防支援の事業の基本方針を定め、効果的な支援が提供できることを目的としてこの条例が制定された。

神山町出産祝金支給に関する条例の制定について

制定の内容…… 子育て支援を目的に出産祝金を支給する条例を制定した。

第一子及び第二子の出産に対して5万円を支給する。（県内一町村では最高額）第三子以上は10万円を支給する。

神山町難病患者等家庭奉仕手数料条例の廃止について

廃止の理由…… 日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に含まれたことから、条例が廃止された。

神山町災害見舞金条例の一部改正について

改正の理由…… 近年多発する自然災害に鑑み、災害弔慰金の支給等に関する条例や他の公的な支援との整合性を図るため、見舞金の区分及び金額等を改定するために、条例の一部を改正した。

西崎哲夫議員



官民協働のまちづくりの行政広報のあり方

四季の里の町外・県外団体宿泊客に郷土芸能の上演をしては

答弁（町長）

質問

今のまちづくりは、官民協働が大切といわれている。本町は官民協働が効果的に実践されていると思うが、新聞、テレビ等で成果ばかり取り上げられるので、官の影がいたって薄いと思う。まちづくり関係の予算等について、町広報でももっと取り上げて、官民が目的意識を共有していることを、町民に広報すべきでないか。

答弁（町長）

まちづくりの在り方は、主役は町民であるという観点に立って、官は影あるいは下支え支援に徹していくべきである。

質問

全国各地の宿泊施設では、宴会等でご当地芸能がよく披露される。今有名になっている民謡や郷土芸能も、もともとはその土地の労働歌であったり、宗教行事が原点のものが多い。

もともと泥臭く民衆のくらしの中で息つき、発展したもので

ないのか。神山温泉四季の里の町外県外からの団体客に、神山の郷土芸能の披露をしてはどうか。郷土芸能の伝承や保存は、こうした取り組みによってより確かなものになるのではないか。

答弁（町長）

現行として特定の限られた客、正月等に人形浄瑠璃芝居(式三番叟)、阿波踊り、獅子舞が披露されている。新たにその他の郷土芸能については、(株)神山温泉支配人あるいは、取締役との協議が不可欠なので検討をしていく。郷土伝統芸能の保存継承は重要と考えているので、今後検討を重ねる。



獅子舞



式三番叟

森本吉治議員



若者定住住宅について 女性課長の登用について 買い物弱者の更なる支援は

答弁（町長）

質問

今定例会に若者定住住宅基本設計業務委託料が計上されているが、どの様な青写真を描いているのか。

答弁（町長）

200万円で基本計画を策定したい。神山の木を使って、省エネ、小さな家庭菜園つきなど考えている。建設にあたっては若者の意見を取り入れ前向きにあたりたい。

質問

神領小学校の児童数は移住者対策の恩恵で児童数が増えているようであるが、広野小学校校区内での若者定住住宅の建設の考えはないか。

答弁（町長）

これまでに2箇所ほど適地の候補があったが、良い返事がいただけではない。また平地部が少ないのも障害となっている。

質問

女性職員の管理職の登用が少ないのではないか。

答弁（町長）

男女共同参画基本法が制定されているので、町としても女性の登用はしなければならぬと考えている。過去に3名が管理職に登用されているが、保育所の所長も管理職に当たるので、管理職15名のうち2名が管理職である。実力のある女性職員もいるが、早期退職者も多くあり難しいところもある。近隣町村も管理職の登用数は良く似た割合である。

質問

高齢者の買物支援や病院への通院としての足の確保の更なる充実は出来ないか。

神山町では他町村にはない、高齢者タクシー助成制度ができているが、度々利用することは金額の問題で利用することができないので、遠距離の移動の為にバスの利用に援助が出来ないか。

答弁（町長）

タクシー利用にあたっては

最大2000円を助成している。徳島バスには65歳以上になると、県内乗り放題で3ヶ月定期が15000円、半年定期が24000円、1年定期36500円という長生き定期券というのがある。これに対しての助成とのことであると思うが、徳島バスの利用が非常に少なく、町営バスの運行との兼合いもあるので、検討課題とさせてもらいたい。



役場本庁舎オフィス

五島準介議員



防災について

答弁（町長）

質問

昨今、東南海地震の対策が各自治体で講じられている。もちろん神山町でも様々な対策を講じていると思われる。

そこで、避難所と避難経路についてだが、現在避難所には避難所の表示がされておらず避難経路についても表示がない。先の東北大震災でもあったように大きな災害が起こると、普段できていることができなくなった、パニックに陥り被害が拡大する。

また大きな災害時には町外の方が町内で被災し避難所を利用することもあると思われる。そういった対策のため、避難所や主たる避難経路には表示が必要ではないか。

答弁

避難所の表示については、平成25年度の補正ということで県と連携しながら基金事業で現在準備をしているところである。木製で避難所の表示をするとい

うことで進めている。

限りなく全避難所で表示ができるように今後努めてまいりたい。

避難経路については神山町では200を超える集落が点在し、範囲が非常に広く、特に土砂災害、浸水被害ということ考えると表示をするのは非常に難しいと考えられる。

質問

大きな災害時には被害が拡大する恐れがあり、平常時から十分な対策を講じておく必要があると思われる。

防災マップだけでは不十分ではないかと思われるし、避難経路については避難所に近くに簡易的な表示をするといったこともできるかと思われるので是非検討していただきたい。

以上



坂口一之議員



消防団員の報酬について

農業振興策について

地域おこし協力隊の活動について

答弁（町長・産業建設課長・総務課長）

質問

この前、新聞に消防団員への報酬のことが出ていたが、町の消防団への対策は。

答弁（町長）

全国同一基準で交付税措置されており、神山町は72名分の配分である。

消防団員は341名在籍している。

25年度までは団員への報酬は支払せず、各部へ運営費を支出していた。

26年度からは、団員へ一人当たり年額90000円を運営費と含めて支払うこととする。

国へは実体にあつた341名に対して、交付税措置を行うよう、全国町村会等を通じて要望していく。

今後とも消防団の充実に取り組んでいく。

質問

担い手育成等農業の振興への取り組みは。

答弁（産業建設課長）

県単補助による燃料高騰対策施設機械導入モデル事業の取り入れ。地域活力促進事業で3戸以上の共同体が高性能の水稲関連機器の導入への取り組み。

スタチの今後のTPPを見据えた、安心安全を前面に押し出した販売の強化、スタチの改植推進。

新規作物あわ春香等の推進。

スタチ貯蔵技術の向上のため、徳島農林水産総合技術センターと共同で研究の促進。

新規就農者の経営安定を支援する。

新規就農総合支援事業の実施等。

以上農業振興に取り組んでいく。

また、26年4月1日で産業建設課を、産業観光課と建設課に分け、農業をはじめ産業の振興の体制強化を、図ることとしている。

質問

地域おこし協力隊の活動状況は。

答弁（総務課長）

現在は3名が活動している。農作業や加工所での手伝い、商品開発、地域の催しへの参加を通して、新たな視点から取り組んでいる。

産業振興の分野の活動はもとより、移住交流事業にも取り組んでいる。

協力隊の活動拠点を、本上角のJA神領支所の元購買所へ移して、平成26年度から2名を採用し、計5名の隊員で活動の強化を図っていく。

平成二十四年からの活動であるので、現在は活性化の種を蒔いている時である。すばらしい実がなるよう、隊員の努力はもとより、町民の多くの方々にも、参加いただき、すばらしい実が出来るよう、役場も支援をしていく。

木元史幸議員



スポーツ振興助成金について

平成25年度実績報告並びに
助成金額の検討（教育長）

スポーツ振興助成金について

神山町スポーツ振興助成金は、神山町民が県大会等を勝ち抜き、四国または全国のスポーツ大会へ参加することに対して、個人に1万円、団体に3万円が支給される制度である。

助成金を受けるためには、大会出場前に申請が必要となる。

助成金交付申請及び詳しい内容については、神山町教育委員会に問い合わせください。

電話088-676-1522

質問

25年度に助成金制度を利用した生徒は何名なのか。

答弁（教育長）

17名が利用した。

質問

全国大会への出場となると、保護者負担も大きくなる。さらなる上積みはどうか。

答弁（教育長）

保護者にとっては大きな負担となっている。町長の理解を得て検討する。

議員研修

勝名地区町村議会議員研修会

平成26年2月21日、神山温泉で勝名地区町村議会議員研修会が開催された。勝名地区5カ町村が持ち回りで、本年度は神山町が当番となり、『サテライトオフィス・神山で今何が』と題し、最近本町で最も話題性のあるテーマを取り上げた。今回の研修会には、勝名地区議員及び事務局53名が参加した。

高齢化と人口減少社会を迎えて全国的に注目を集めている神山町の取り組みについての発表と活発な討論が時間の限り行われ、有意義な研修会になった。

講師にはサテライトオフィス（SO）などを開設し、神山町内でご活躍の4名の方をお願いした。講演内容は各社の紹介と神山町にSOを置いた理由やきっかけ、そして今後の事業展開等であった。

（株）ソノリテ

代表 江崎礼子さん

NPO法人向けインターネット募金システムの開発・提供を目的に2010年に創業。提供しているオンライン募金システムは値段設定やカスタマイズ性の高さなどが評価され約20団体のNPOに採用されている。今では複数名の現地スタッフを採用し、東京と徳島の2拠点でコミュニケーションしながら事業を拡大させ全国のNPOを一層サポートしていきたい。



勝名地区議員研修会

キネトスコープ社 ディレクター 廣瀬圭治さん

ウェブ媒体を中心に映像やグラフィックなど、クロスメディアな表現を駆使し、価値のあるコンテンツを提供している。

「インフラさえ整えば、いつかは環境の良いところで最先端の仕事ができる」とIT業界で仕事を始めた時のビジョンを取り戻し、2012年10月末に移住+S.Oを借開設した。

豊かな自然環境、人とのつながりを身近に感じながら、業務に集中することができ、先に神山町に入っているS.O企業とのコラボレーションや、クリエイターとのコラボレーションが始まっている事はとっても大きいメリットだ。

(株)レイシヨン 代表取締役 祁答院弘智さん

持続可能な地域社会の実現を目指し『人とつながり』『自然とつながり』『地域とつながり』を未来創造する会社である。

企業や各種団体が実施する地域貢献と若者の活動場所をマッチングさせた地域イベントの企画運営をマネジメントする。若者が働くキッカケを作り、雇用を創出する。

地域活動に対し高いモチベーションを持った『人づくり』の実現を目指す。

(株)プラットイーズ 取締役会長 隅田徹さん

テレビ番組詳細情報の編集や配信を手掛けるプラットイーズ(東京)は次世代高画質放送「4K」「8K」の実証実験を行う新会社「えんがわ」を神山町に設立した。サテライトオフィス神山センターを拠点に4K、8K映像の配信や保存、活用事業を展開する。

ケーブルテレビ徳島と連携し、東京から大阪を経由して神山町に至る大容量、高速の専用線を敷設。配信実験は神山町でスタートさせ、ケーブルテレビ網を利用して県内全域に広げる計画で

ある。昨年の阿波踊りは専用のカメラを使って4Kで撮影した。県内を中心に採用活動を行い、10人余りを新規雇用。4K、8K事業への参入を考えている。パートナー企業も募っている。「映像ビジネスといえば徳島、といわれるような事業展開を図りたい。」

以上が各氏の講演内容であったが、4名とも神山町にサテライトオフィス(S.O)を開設した理由としては、家庭向け光ファイバー網が設置されていること、NPO法人グリーンバレー理事長大南信也さんの存在、行政の受け入れ態勢が整っていることである。そして地元の方たちが寛容でフレンドリーに歓迎してくれるところが大きな要因であった。

町議会議員としてサテライトオフィスを開設された業界の発展と更なる拡大に、どの様な係わり方をするべきか模索中である。(細井成富)



たくさんの人とつながりができた神山に感謝

「サテライトが高じて移住し約1年」

株式会社えんがわ代表 隅田 徹

デジタル映像を扱う会社です

当社（神山に本社を置く「株式会社えんがわ」と親会社の「株式会社プラットイーズ」はデジタル放送やインターネットの動画配信で使われるメタデータ（番組の細かい情報）の編集やデジタル映像のアーカイブ（長期保管）をしている会社です。日本では他に同じようなことをやっている会社がなくとても特殊な領域を生業としています。両社合わせて東京側が約80名、神山側が20名で全体100名ほどの企業です。

えんがわ社では4Kという現行ハイビジョン放送の4倍の細かさを持つ最新規格を扱っており四国では唯一の存在です。

現在、その4Kを使って神山の現在を



サテライトオフィス

1000年先に残す「神山アーカイブス」というプロジェクトに取り組んでおります。

サテライトオフィスの候補地を探しました

6年ほど前から東京に一極集中していた業務を分散しようとおもい地方にオフィス候補地を探していましたが当初神山のことはまったく知りませんでした。

震災後その動きを本格化させ多くの候補地の中から3か所に絞り込みましたが、ちょうどそのころ（2011年秋）NHKの番組で神山のサテライトオフィスが取り上げられてそれを当時の当社会長が見て「とにかく面白そうなどころだから行ってこい」言ってくれました。

多くの人との繋がりができました

2012年の4月にグリーンバレー大南理事長にお会いし、多くの地元の方々にもお会いし一気に神山好きになりました。

5月には他の候補地をすべてやめて神山にサテライトオフィス（えんがわオフィス）をつくることに決め、物件さがしに毎週神山に来るようになった。9月によく現在の寄井の家がきまり諸々の調整や手続きを経て2013年1月には改修に着手しました。

えんがわオフィスが完成する前月の2013年6月には住民票も東京から神山に移し、生活の拠点も完全に神山になりました。

しばらくはオフィスの2階に住んでおりましたが12月には念願の自宅も阿川（神木）に完成し、在所の方々にも優しく迎えていただいております。

神山の人と自然に深く感謝

大阪生まれ東京育ちの私は祖母が徳島出身であるものの徳島とはこれまでほとんど関係がありませんでした。

それが一昨年50歳にもなって知らない土地である神山にやっ



(株)えんがわ

てきて新しい拠点を立ち上げようとするにはかなり不安があったのが事実です。

それを払しょくしてくれたのは地元の方々の寛容であたたかい受け入れと心休まる四季折々の自然、さらにおいしい食べ物の数々です。

つい数年前まではこんな人生があるとは想像もしていなかったわけで、ほんとうに心から神山のみなさんとこの土地に感謝しております

「ありがとうございます、神山、これからもよろしく」

追伸・できるかぎり多くの町民の方に私どもの仕事を知っていただきたく、ご興味のある方はぜひお気軽に寄井の「えんがわオフィス」をご見学にいらしてください。（担当・谷脇0501753510344）



えんがわ蔵オフィス



もうご覧になりましたか。

28歩の会の皆さんによる「かかしの展示」

テーマ：「ヒトの一生」

展示場所：神領字西青井夫（国道438号沿い）



神山の風景



編集後記

寒かった冬が去り、花盛りの神山は多くの訪問者で賑わいました。阿川の梅まつりに始まり、鬼籠野や下分明王寺の桜まつり、そして上分江田の菜の花まつりなどと町内外の方々とともに神山の春を満喫しました。

3月定例会は、議会棟が耐震工事で役場委員会室での開催となり、少々窮屈ではありましたが、町活性化策、消費税対応等本年度の町の行く末について、審議決定しました。

今回のように議場外での議会開催は、昭和30年の合併当時議員が85人おり、学校の講堂で開かれていました。今や人口減少、議員数も減少し、次期選挙から10人の議員定数となり、激しい時の移り変わりを感じています。

(榎本雄一)

表紙紹介

「鬼籠野さくら祭り」

本年度10回目を迎えた「鬼籠野さくら祭り」が3月30日に開催された。

主催は鬼籠野さくらボランティアグループで、飯泉徳島県知事をお迎えしてのさくらウオーク・津軽三味線演奏・カラオケ・餅つきなど多彩な催しが行われ、すだち日本一に加え、桜の名所としても名前が知られるようになった。

議会の動き

4月

7日 勝名地区監査委員連絡協議会定期総会
14日 勝名地区町村議会議長会臨時総会

5月

16日 第23回徳島県町村議会議員研修会
21日～23日 勝名地区監査委員連絡協議会視察研修

27日～28日 第39回全国議長・副議長研修会

6月

中旬～下旬 6月定例会